

平成 30 年度 精神部会活動計画

【目的】精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、入院中から医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

【主な活動】

精神部会

①事例検討

退院支援時に本人の気持ちの揺らぎがありスムーズに進まない事例、グループホームの利用で力が付き、グループホームを卒業してアパートでの生活を始めた事例等を共有し、支援のポイントや地域支援者の連携等について学びを深めていく。

②地域への啓発・研修

安心して地域での暮らしを継続していけるよう地域に向けた研修会を継続していく。今年度のテーマや内容については、第2回部会（7月開催）で検討する。

③精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議

これまで部会で行ってきた取り組みを継続し、退院支援、住まいの確保支援、地域の資源の充実等の必要な課題検討を行い、地域づくりを行っていく。

長期入院者等との面談

●県保健師、市町村保健師、相談員で、精神科病棟に入院されている方との面談を継続して行う。これまで数年かけて継続する中で、個別の支援会議や退院につながった方もいる。入院中の方と地域の関係者がお互いの顔を知り、ご本人の意向を聴き、それに沿った応援をできるよう今年度も継続していく。

仲間としゃべろう会虹

●当事者の方を中心に、気軽に集まっておしゃべりができる場として開催。月1回、中野会場・飯山会場を隔月開催とし、今年度も継続していく。